

I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

★111名中 100名提出
◎回収率 90%

II、自己評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	教職員が協力して、臨機応変に保護者対応や行事を計画・変更している。若手教員がいない為、今後は若手教員の育成も必要であると思われる。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	教職員間で情報を共有し、一人ひとりの子どもに対し、同じ声掛けや援助・指導することができている。挨拶や善悪の判断など、しっかり指導している。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	保育者の人間性、在り方が子どもに大きく影響することを日々感じる為、子どもにとってどうあるべきかを常に考え、保育者としての自覚をもち保育をしている。
4	保護者への対応・守秘義務	◎	保護者対応はすぐに園長・教頭の指示を仰ぎ、迅速に対応できている。保護者の声にはしっかり丁寧に耳を傾け対応することができた。
5	地域の自然や社会とのかかわり	◎	4年ぶりに老人施設訪問・小学校訪問ができ、地域の方々と交流をもつことができた。また、遠足や公園遊びを通して、地域の自然の中で楽しむことができた。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	◎	姉妹園との研修会、東京都や八私幼の研修会等、楽しく学ぶことができ、実際の保育にも生かすことができた。テレワーク、オンライン等で研修が受けられ、又開催時間が考慮されると負担も少なく気軽に様々な分野の内容の研修を受けやすいと感じた。
7	保育のあり方 3歳未満児への対応	◎	課外教室、満三歳児共に継続的に入会・入園があり、一年を通して、園のことを知っていただけた。また、満三歳児保育の大切さを実際の子どもの姿を通して保護者の方や外部の方に、保育参観や行事・ホームページや見学会等で知っていただくことができた。
8	地域における子育て支援	◎	八王子市子育て支援ゆめキッズでの月1回の出前保育の実施や公園遊びを通して、子育ての心配事や不安等、相談にのったりアドバイスをしたりすることができた。

IV、保護者評価の状況

結果	項 目	内 容
◎	子どもの成長について	「先生方が大好きで、親以外の信頼できる存在を子どもが見つけられて、日々愛情をもって保育して下さることに感謝している」「全ての先生方に安心感と感謝の気持ちでいっぱいです」「先生方の子ども達への愛情が日々感じられ、安心して預けることができる」等の良いコメントをいただいた。また、A評価が一番低かった項目は「相手の話を注意して聞くことができる」で45%半数以下だった。今後、保護者の方の協力を頂きながら、教員一人ひとりが意識して指導していきたい。
◎	園の運営について	「園長先生、先生方、事務の方園全体で子ども達を見守ってくれ、安心して預けている」「感染症対策を考え短期間、短時間でも子ども達の為に創意工夫されたイベントを開催してくださり感謝の気持ちでいっぱいです」「駐車場を整備してもらい、とても使いやすくなった。」等のコメントをいただいた。引き続きその時々状況に合わせて考えていこうと思う。
◎	家庭との連携について	「保護者の相談にやさしく対応してくださり感謝している」「子どもの様子をとても細かく、電話やお手紙で知らせてくださるので安心している」「毎月の指導計画、園だより、クラスだよりを楽しみに読ませて頂いている」等のコメントをいただいた。今後も各家庭との連絡を密にとり、幼稚園と家庭とが一つになって子どもを育てていかれるようにしていこうと思う。

V、総合的な評価結果

評価	理 由
A	・一人ひとりの子ども、保護者との関わりを大切に、園全体で第一に子どもの事を考え、取り組んできたことで聖徳の保育の良さを実感して頂けたように感じる。「日本の伝統行事や遊びをたくさん経験させていただいて、聖徳に入ってよかった」や、「周囲の未就園児の保護者にも勧めるほど満足している」などの嬉しい評価も頂けた。【いつもにこにこ元気な子ども】の教育目標が達成できた。しかし、少数意見ではあるがその他ご意見や、要望も頂いているので園全体で検討し改善できる点については改善し、さらなる満足度の向上に努めていきたい。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

VI、今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	・多様化したニーズへの対応	・各家庭の事情に合わせた、幼稚園で出来る範囲での対応を考え保護者に寄り添い援助・配慮・支援を行っていく。又、保護者のニーズに合わせて、大学・短大・専門学校の先生に講演して頂くなどの対応を考える。
2	・地域における子育て支援 (八王子駅ビル子育て支援ゆめきっずでの月1回の出前保育実施) (未就園児対象のイベント開催)	・出前保育の提供により、園庭開放、園見学等に参加して頂き地域の方の子育ての悩みや相談等を話せるような場を作り、子育て支援かつ聖徳の保育のアピールを引き続き行っていく。又、未就園児対象のイベント開催で幼稚園に入りやすい状況を作る。

VII、学校関係者評価委員の評価・・・・・・評価委員 5 名より、全項目において「A」の評価をいただいた。

コメント

- ・ 理屈抜きで温かい幼稚園であると感じ、何よりも園児たちが安心して幼稚園生活を送る姿から、保護者からのフィードバックにも現れている。評価の保護者コメントは読んでいても心が温かくなった。
- ・ 園児も保護者も二度とない幼稚園生活の「今」を深く味わっていると思う。聖徳が提供するこの「今」は生涯にわたり温かい記憶として心に残り続けるはずと思う。
- ・ 水曜日の午前保育がなくなり、週五日の給食が出るようになったのは画期的なことだった。
- ・ 園長先生を始め、教職員が一丸となって教育に取り組んでいる様子が感じられる。子どもの事を一番に考えて迅速に対応されている。保護者にとっても安心して子どもを預けられる幼稚園。
- ・ いつも愛情あふれる保育をして、子どもが楽しく登園しにこにこ帰ってくることが保護者にとって一番うれしいことだとアンケートを読んで感じた。
- ・ 保護者からのご意見で対応できるものは柔軟に改善をしていくことは、園児や保護者にとってとてもいいこと。

以上